

事例4) $c = 30$, $c_0 = 30$, NPVは254.3

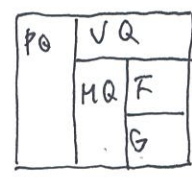
① 経営分析 名詞の定義

- <収益性> → P/Lの分析
 1. 売上高総利益率 ← 粗利益/A
 2. 売上高営業利益率 ← 経常/A
 3. 売上高経常利益率 ← 借入/A

- <安全性> → B/Sの分析
 1. 短期 ← 流動比率 > 100% ↑ 200% ↑ が望ましい
 ↳ 当座比率 (現金/売上)
 2. 中期 ← 固定比率 (国/EB) < 100% が望ましい < 100% が望ましい
 ↳ 長期固定比率 (国/EB+ED) 固定借入割合
 3. 長期 ← 自己資本比率 (EB/A) → 高ければ良い
 ↳ 負債比率 (D/E) → 100% 以下が望ましい

<効率性> P/L, B/S
 (回転率) 売上債権 → 早く回収
 固定資産 → 土地/建物
 在庫 → 在庫

② CVP



→ $c = 10$ 固定費の増加
 ↓ 赤字
 → 固定費の増加 → 赤字の発生
 → 固定費の増加 → 赤字の発生
 → 固定費の増加 → 赤字の発生

- 営業利益率 (R) = $\frac{M}{G}$ (倍) → Fが大きいほど↑, Fが小さいほど↓
- 変動率率 (α) = $\frac{VQ}{PQ}$ (1/%)
- 損益分岐点売上高 (CVP) $CVP = \frac{F}{1-\alpha}$
- 損益分岐点比率 = $\frac{CVP}{PA}$ (1/%) → 安全率 = $\frac{PA - CVP}{PA}$

③ CFの算出

- 基本的に、以下の情報を必要とする
 PL → 営業以外の項目, B/S → 現金以外の項目を増減
 特別利益/損失 → 投資活動のCFに含める
 その他流動資産/負債 → 営業CFの前
 その他固定資産 → 投資CFに含める
 営業外収益/費用 → 営業CFの増減として扱う

計算
 ① 営業CF + 投資CF + 財務CF = 現金増減
 ② 非営業と営業外の問題子 = 営業利益 + 非営業
 ③ 営業外収益/費用 → 営業CFの増減として扱う

④ CFの算出

限利 Δ個別固定費 = 直前直後
 ↓
 PA - VQ
 → 制限のある経営管理
 限利の算出方法
 国別固定費の回収率

※ 限利の算出方法

⑤ 意思決定会計

a. 回収期間法 (単純/現在価値) 考慮性
 b. NPV法 (正味現在価値法) 収益性 FCF = 営業CF + 投資CF

 営業CF = 引当利益 × (1-t) + 減価 - 運転資本 - 投資経費
 ↓
 (PA - 費用 - 減価)

c. IRR法 (内部収益率) 安全性
 IRR > WACC
 NPV
 投資回収率
 4.1% → 2.2% → 3.2%
 4.4% → 2.7% → 3.7%
 4.7% → 3.0% → 4.0%
 4.9% → 3.2% → 4.2%
 5.1% → 3.4% → 4.4%
 5.3% → 3.6% → 4.6%
 5.5% → 3.8% → 4.8%
 5.7% → 4.0% → 5.0%
 5.9% → 4.2% → 5.2%
 6.1% → 4.4% → 5.4%
 6.3% → 4.6% → 5.6%
 6.5% → 4.8% → 5.8%
 6.7% → 5.0% → 6.0%
 6.9% → 5.2% → 6.2%
 7.1% → 5.4% → 6.4%
 7.3% → 5.6% → 6.6%
 7.5% → 5.8% → 6.8%
 7.7% → 6.0% → 7.0%
 7.9% → 6.2% → 7.2%
 8.1% → 6.4% → 7.4%
 8.3% → 6.6% → 7.6%
 8.5% → 6.8% → 7.8%
 8.7% → 7.0% → 8.0%
 8.9% → 7.2% → 8.2%
 9.1% → 7.4% → 8.4%
 9.3% → 7.6% → 8.6%
 9.5% → 7.8% → 8.8%
 9.7% → 8.0% → 9.0%
 9.9% → 8.2% → 9.2%

⑥ その他

企業価値 = $\frac{FCF}{WACC}$
 ↓
 WACC = $\frac{E}{D+E} \times r_e + \frac{D}{D+E} \times r_d$
 ↓
 FCF = 営業CF + 投資CF
 ↓
 FCF × (1-t)
 ↓
 FCF × (1-t) × WACC
 ↓
 FCF × (1-t) × WACC
 ↓
 FCF × (1-t) × WACC